

授業概要

この授業のテーマは、イギリスとアメリカを中心とした英語圏文学への誘いである。その文学に誘うために、詩、劇、小説の3つのジャンルの主だった作家・作品を取り上げ、作品からの一部抜粋を通じて英語表現を学びつつ、その多様で豊かな想像力の世界を講義する。また英語圏文学にまつわる基礎的な事柄（時代的および文化的背景、文学用語など）も学習する。なお毎回の授業の最後に、授業内容に関連した問題演習（提出）を行う。

授業計画

第1回	ガイダンス（授業の進め方など）、取りあげる作家・作品の説明など
第2回	英語の詩① 短詩 ウィリアム・ワーズワスの詩など
第3回	英語の詩② 長詩 サミュエル・テイラー・コールリッジの詩など
第4回	イギリスの劇① ウィリアム・シェイクスピアの史劇
第5回	イギリスの劇② ウィリアム・コングリーヴとジョージ・バーナード・ショーの喜劇
第6回	アメリカの劇 ユージン・オニールとニール・サイモンの劇
第7回	イギリスの小説① チャールズ・ディケンズの『クリスマス・キャロル』
第8回	イギリスの小説② シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』
第9回	イギリスの小説③ ロバート・ルイス・スティーヴンソンの『ジキル博士とハイド氏』
第10回	イギリスの小説④ アーサー・コナン・ドイルのシャーロック・ホームズシリーズ
第11回	イギリスの小説⑤ J・R・R・トールキンの『指輪物語』
第12回	アメリカの小説① マーク・トゥエインの『トム・ソーヤーの冒険』
第13回	アメリカの小説② オー・ヘンリーの短編小説
第14回	アメリカの小説③ F・スコット・フィッツジェラルドの『グレート・ギャッピー』
第15回	第1回から第14回までのまとめ
第16回	学期末試験

到達目標

以下のイギリスとアメリカを中心とした英語圏文学に関する基礎的知識を身につけることを目標とする。

1. 主だった作家名・作品名を挙げるができる。
2. 作品中の英語表現と訳文とをおおよそ対応させることができる。
3. 基礎的な文学用語などを概ね説明することができる。

履修上の注意

授業開始後30分以上超えた場合は欠席扱いとするので、注意すること。私語厳禁。

予習・復習

プリントを読んだうえで授業に出席すること。授業後は学んだ内容を確認すること。できれば、授業で取り上げる作家の作品を読んで欲しい（訳本で可）。

評価方法

学期末試験 75%、第2回から第14回に課された問題演習 25%。

テキスト

教員作成のプリントを用いる。また Power Point および DVD など活用する。